

第4章

まちづくりの基本目標

「目指すべき都市像」を実現するためには、私たちが具体的な目標を共有し、その目標に向かって連携しながら課題に取り組んでいく必要があります。そこで、まちづくりの分野を7つに分け、その分野ごとにまちづくりに関する「基本目標」を設定します。この中では、私たちが、今後のまちづくりの方向性を具体的にイメージできるようにするため、基本目標ごとに「将来のまちの姿」を示すとともに、市民や企業などが、それぞれの立場で取り組むべきことを明記します。

なお、まちづくりの実践に当たっては、市民、企業、行政などの様々な主体が参画し、相互に補完し合いながら責任を持って進めることが重要です。

7つの分野	重要な視点	24の基本目標
地域	地域での支え合いとつながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 共生と交流により人と人がつながるまちにします ② 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします ③ 多様な地域課題を解決できるまちにします
経済	暮らしと雇用を支える経済の発展	<ul style="list-style-type: none"> ④ 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします ⑤ 様々な連携により産業が高度化するまちにします ⑥ 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします ⑦ 強みを生かし世界とつながるまちにします ⑧ 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします
子ども・若者	将来を担う子ども・若者の健やかな育み	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 安心して子どもを生み育てられるまちにします ⑩ 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします ⑪ 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします
安全・安心	安心して暮らせる「人に優しい」まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ⑫ 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします ⑬ 地域防災力が高く災害に強いまちにします ⑭ 安全な日常生活が送れるまちにします
環境	次世代へつなげる持続可能なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 豊かな自然と共生するまちにします ⑯ 資源やエネルギーを有効活用するまちにします ⑰ 市民が環境について学び行動するまちにします
文化	文化芸術・スポーツによる創造性の育み	<ul style="list-style-type: none"> ⑱ 創造的な活動により活力あふれるまちにします ⑲ 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします ⑳ 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします
都市空間	魅力と活力を持続的に高める集約型のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ㉑ 公共交通を中心とした集約型のまちにします ㉒ 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします ㉓ 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします ㉔ 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

1 地域 ～つながりと支え合い～

現状と課題

市民の意識や生活様式の変化、価値観の多様化などにより、地域⁴における課題が複雑・多様化しており、これまでの取組だけでは解決が難しくなっています。

今後は、住民同士の支え合いや助け合いが地域課題の解決に重要な役割を担うことが期待されており、そのためには地域のつながりを深め、町内会などの地域コミュニティを活性化していく必要があります。

また、ボランティアやNPO、企業などによる社会貢献活動も広がってきており、これらの多様な活動の担い手の連携による地域課題の解決が求められます。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 地域での支え合いとつながりづくり —

地域での支え合いを実現するためには、世代や性別、国籍、文化の違い、障がいの有無などにかかわらず、地域の人々がお互いを認め合いながら、社会参加や交流を通じてつながりを深めていくことが重要となります。また、市民一人一人や、町内会、NPO、企業などが、地域課題を自らの問題と考えて主体的に活動し、お互いに連携しながらネットワークを構築していく必要があります。

このような取組により、地域自らが様々な地域課題を解決していける力を向上させるとともに、住民同士が支え合いながら暮らしていけるまちづくりを進める必要があります。

基本目標の設定

基本目標

- 1 共生と交流により人と人がつながるまちにします
- 2 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします
- 3 多様な地域課題を解決できるまちにします

⁴ 【地域】 この場合の地域は、行政区より小さい、生活に身近な空間的広がりを指す。

基本目標

1 共生と交流により人と人がつながるまちにします

将来の まちの姿

- ▶地域では、住民同士の支え合いにより誰もが自立した生活を送るとともに、それぞれが持つ能力を発揮して、積極的に社会参加しています。
- ▶地域を越えた重層的で多様なまちづくりのネットワークが広がっています。
- ▶お互いを尊重し、責任を分かち合う男女共同参画社会が実現されています。
- ▶多文化共生⁵の意識が醸成され、国や文化の違いにかかわらず、お互いを認め合い生活しています。
- ▶子どもを始めとした住民が集える居場所や交流の場が身近にあり、地域コミュニティが活性化しています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 住民同士の交流や支え合い活動への積極的な参加

町内会・NPO・企業等

- 市民の居場所づくり

行 政

- 多世代交流などの推進

など

基本目標

2 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします

将来の まちの姿

- ▶子どもから高齢者まで、全ての市民が、様々な学びの機会を活用しながら、それぞれが持つ能力や経験を生かし、自分に合った形で主体的に地域のまちづくり活動に参加し、活躍しています。
- ▶地域のまちづくり活動の中核を担っている町内会への加入が進み、地域コミュニティが活性化しています。
- ▶町内会を始め、NPO、商店街、企業など、多様な活動主体が様々な地域のまちづくり活動に取り組んでいます。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 町内会活動を始めた地域のまちづくり活動への積極的な参加

町内会・NPO等

- 地域のまちづくり活動の推進

企 業

- 社会貢献活動などを通じた地域のまちづくり活動への積極的な参加

行 政

- 多様な活動主体が地域のまちづくり活動に取り組める環境づくり

など

基本目標

3 多様な地域課題を解決できるまちにします

将来の まちの姿

- ▶複雑・多様化する地域課題が、住民や地域の団体、企業などによる自主的な活動や行政による支援を通じて解決されています。
- ▶地域のまちづくり活動を実践する様々な主体が、お互いに連携し、相乗効果を生みながら活発に活動しています。
- ▶ソーシャルビジネス⁶やコミュニティビジネス⁷など、ビジネスの手法を活用して地域課題を解決する活動も活発に行われています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 地域のまちづくり活動への積極的な参加

町 内 会

- 地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携

企業・NPO等

- ビジネスの手法を活用した地域課題の解決に向けた取組の推進

行 政

- 区役所、まちづくりセンターにおける地域課題の的確な把握、迅速な支援体制づくり

など

⁵ 【多文化共生】 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

⁶ 【ソーシャルビジネス】 環境、医療、福祉など地域の様々な社会的課題を、ビジネスの手法を用いて解決しようとする事業。

⁷ 【コミュニティビジネス】 地域の課題を住民、NPO、企業などが連携して、ビジネスの手法を用いて解決しようとする事業。

2 経済 ～暮らしと雇用を支える～

現状と課題

産業の活性化は、都市の活力を高めるとともに、安定的な雇用を創出し、社会の持続可能な発展を支える重要な役割を担っており、市民の安心な暮らしを実現する上で欠かすことのできないものです。

このため、人口減少や少子高齢化の進行、グローバル化の進展など、札幌を取り巻く社会経済情勢の変化に対応できる足腰の強い経済基盤を確立させることが必要となっています。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 暮らしと雇用を支える経済の発展 —

経済の発展と安定的な雇用の確保のためには、札幌の経済をけん引していく産業分野を明確に定め、積極的な振興を図ることが重要です。また、創造性や地域特性を生かした付加価値の創出やグローバル化への対応などにより、産業全体の活性化を図り、競争力を高めることが必要です。さらに、地域コミュニティを支える産業を育てていくことが求められています。

基本目標の設定

基本目標

- 4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします
- 5 様々な連携により産業が高度化するまちにします
- 6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします
- 7 強みを生かし世界とつながるまちにします
- 8 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします

基本目標

4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします

将来の まちの姿

- ▶食、観光、環境、健康・福祉の4つの産業分野を中心に足腰の強い経済基盤が確立しています。
- ▶従来の製造業に、バイオ・IT・コンテンツ産業を加えた「札幌型ものづくり産業」が根付き、他分野との連携により新たなビジネスが生まれています。
- ▶中小企業の活動が活性化し、裾野の広い経済基盤が確立しています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 地産地消の実践

企業・大学・研究機関等

- 他産業との連携による付加価値の向上

行 政

- 食、観光、環境、健康・福祉の4つの産業分野の重点的な振興 など

基本目標

5 様々な連携により産業が高度化するまちにします

将来の まちの姿

- ▶産・学・官の連携などにより、創造性を発揮した様々なイノベーションが起きています。
- ▶道外から先端技術分野の企業などが進出し、北海道全体の産業の競争力が高まっています。
- ▶広域的な交通ネットワークにより、道内外とのヒトやモノの流れが活発化しています。

私たちが 取り組むこと

企 業 等

- 新事業や新分野への事業展開

行 政

- 新たな技術や製品の開発に向けた産・学・官連携の促進

など

基本目標

6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします

将来の まちの姿

- ▶中小企業の経営基盤の強化などにより、市民の雇用が安定的に確保されています。
- ▶誰もがそれぞれの能力を生かして働くことで、自立して暮らしています。
- ▶ワーク・ライフ・バランスの考え方が浸透し、実践され、社会全体が活性化しています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 職業能力の向上や自己啓発

企 業 等

- 市民の能力を生かす積極的な雇用

行 政

- 雇用のミスマッチ解消や起業への支援

など

基本目標

7 強みを生かし世界とつながるまちにします

将来の まちの姿

- ▶札幌・北海道の強みを生かし、海外の需要を取り込むことにより、多くの外貨を獲得しています。
- ▶外国企業の進出により、新たな雇用や地場企業への波及効果が生まれています。
- ▶企業では、国際的な視野を持った人材が活躍するとともに、海外との様々な都市間交流や互恵的な国際協力が、新たなビジネスへの架け橋になっています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 外国人観光客などへのおもてなしの実践

企 業 等

- 積極的な海外事業の展開

行 政

- 観光客の受入環境の整備

など

基本目標

8 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします

将来の まちの姿

- ▶身近な商店街が活性化し、地域のにぎわいを生み出しています。
- ▶ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスが活発化し、地域コミュニティを支える産業としての役割を果たしています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 地域の商店街活動への理解と協力、店舗の利用

商店街・企業・NPO等

- 地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携

行 政

- ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの振興

など

3 子ども・若者 ～健やかに育む～

現状と課題

全国的に少子化が進む中、札幌市の合計特殊出生率⁸は大都市の中でも極めて低い水準で推移しており、社会の活力に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

少子化の背景としては、子育て家庭の孤立化などによる子育てへの不安や負担感が増大していることが要因の一つとして考えられます。また、子どもや若者の成長過程では、いじめや虐待、不登校、引きこもりなどといった問題も生じています。

こうしたことから、社会全体で協力して子どもの成長を支え、誰もが子どもを生き育てやすい環境を整えていくとともに、困難を有する若者の自立や社会参加を支援していく必要があります。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 将来を担う子ども・若者の健やかな育み —

子どもを生き育てやすいまちづくりを進めるためには、子どもの権利の尊重の下、社会全体で子育て・子育て支援⁹を推進し、子育てへの不安や負担の軽減を図るとともに、子どもの成長過程での様々な問題に対応していく必要があります。

特に、ふるさと札幌に根差した自立した子どもを育てていくためには、全ての子どもに対して、生きる力を培い、豊かな創造力を育む充実した教育を推進することや、社会性を育む実践的な学びの機会を充実させていくことが重要です。

さらに、若者全ての社会的自立を実現するとともに、主体的に地域社会に参画する取組なども進め、将来の札幌を担う人材を育成していく必要があります。

基本目標の設定

基本目標

- 9 安心して子どもを生き育てられるまちにします
- 10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします
- 11 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします

⁸ 【合計特殊出生率】 15歳～49歳の女性の年齢別出生率の合計。1人の女性が平均して一生の間に生む子どもの数に相当する。

⁹ 【子育て支援】 子どもが将来自立した社会性のある大人へと自ら成長していく過程を支援すること。

基本目標

9 安心して子どもを産み育てられるまちにします

将来の まちの姿

- ▶地域の団体や企業、NPO、行政による様々な支援を通じて、安心して子育てができる環境が整っています。
- ▶ワーク・ライフ・バランスの考え方が社会全体に浸透し、男性も女性も仕事と生活の調和を図り、働きながら子育てができる環境が整っています。
- ▶多様なニーズに対応した様々な保育サービスが提供され、子どもが小学校に入学した後も、放課後児童対策¹⁰などの支援体制が整っています。

私たちが 取り組むこと

- | 市 民 | 町内会・NPO等 | 企 業 等 | 行 政 |
|---------------------|---------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| ●様々な子育て支援活動への積極的な参加 | ●子育てサロン ¹¹ の開催など子育て支援活動の推進 | ●ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた職場環境づくり | ●子育て家庭の孤立防止に向けた相談・支援体制の充実 など |

基本目標

10 将来を担う子どもの成長と自立を支える まちにします

将来の まちの姿

- ▶子どもたちは、一人一人の個性や特性を伸ばす充実した教育を受け、伸び伸びと遊ぶことを通じて、生きる力を高め、豊かな創造力を身に付けながら成長しています。
- ▶家庭・地域・学校の連携による多様な体験活動などを通じて、子どもたちは自立した社会性のある大人へと成長しています。
- ▶いじめや不登校、児童虐待などを未然に防ぐとともに、迅速かつ適切に対応する環境が整っています。
- ▶配慮や支援を要する子どもは、充実した相談・支援体制などの下、個別の状況に応じて適切な支援を受けることができます。

私たちが 取り組むこと

- | 市 民 | 町内会・NPO等 | 企 業 等 | 行 政 |
|---------------------|-------------------|---------------|---|
| ●様々な子育て支援活動への積極的な参加 | ●地域における体験活動などへの協力 | ●ボランティア活動への支援 | ●いじめ、不登校、児童虐待などの相談・支援体制の充実及び家庭や地域、関係機関との連携強化 など |

基本目標

11 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします

将来の まちの姿

- ▶全ての若者が社会的に自立できるよう、教育機関や企業、地域、行政などの連携・協力の下、充実した相談・支援体制が整っています。
- ▶地域や企業等と大学などの教育機関が連携し、学生に実践的な学びの場が提供されています。
- ▶若者の安定的な雇用が確保され、起業を支援する制度も充実するなど、働きやすい環境が整っています。
- ▶多くの若者が、様々なまちづくり活動への主体的な参加や新たな取組への先駆的なチャレンジを通じて、地域課題の解決やまちの活力の向上に向けて力を発揮しています。

私たちが 取り組むこと

- | 市 民 | 町内会・NPO等 | 企 業 等 | 行 政 |
|-------------------|-------------------|-------------|--------------------|
| ●大学と地域が連携した取組への参加 | ●地域における体験活動などへの協力 | ●職業体験などへの協力 | ●若者の地域社会への参画の促進 など |

¹⁰ 【放課後児童対策】 昼間保護者のいない家庭の児童の健全育成・指導を目的とする児童クラブなどにおける活動のこと。

¹¹ 【子育てサロン】 子育て中の親子が気軽に集い、自由に交流や情報交換ができる場。

4 安全・安心 ～人に優しいまち～

現状と課題

高齢化の急速な進行によって、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯が増え、支援や介護を必要とする市民が増加しています。また、ニーズが複雑・多様化し、ライフステージに応じた一貫した支援も求められていることから、必要なサービスが適切に受けられる環境づくりのほか、住民同士の支え合いや助け合いも求められています。また、日常の防犯や交通安全など、安全な暮らしの確保も求められています。

さらに、東日本大震災の教訓から、大規模な災害が発生した際には、市民・企業・行政の役割分担による相互連携の取組の重要性が改めて認識されており、それぞれが自らの役割を意識しながら災害に備えていくことが必要です。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 安心して暮らせる「人に優しい」まちづくり —

地域における住民同士の見守り・支え合いや、防犯活動などを通じた日常の安全の確保、市民の主体的な健康づくりなどを通じて、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めていく必要があります。また、多様化するニーズに対応した「きれめ」や「すきま」のないサービスや、安心できる医療体制の充実などを図っていくことが重要です。

そして、万が一の災害に備え、自分の身は自分で守る「自助」、地域で互いが助け合う「共助」、行政による消防・救助活動などの「公助」の役割をそれぞれが認識し、主体的に防災活動に取り組む「防災協働社会」を構築していく必要があります。

基本目標の設定

基本目標

12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします

13 地域防災力が高く災害に強いまちにします

14 安全な日常生活が送れるまちにします

基本目標

12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします

将来の まちの姿

- ▶地域での見守り活動や、相談支援体制の充実により、誰もが安心して暮らしています。
- ▶在宅医療や身近なかかりつけ医¹²の普及促進などを通じて、地域と医療の結び付きが強まるとともに、充実した医療相談体制や救急医療体制により、市民の安心を支えています。
- ▶高齢者や障がいのある方が安心して生活できるよう、適切なサービスが提供されているとともに、様々な世帯のニーズに合った住まいが安定的に供給されています。
- ▶市民の主体的な健康づくり活動が活発に行われ、高齢になっても健やかに暮らしています。
- ▶食の安全が守られ、誰もが健やかで豊かな食生活を送っています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 地域福祉活動などへの積極的な参加

町内会・NPO等

- 地域福祉活動の推進

企 業 等

- ニーズに即した保健福祉サービスの提供

行 政

- 支援を必要とする市民への相談・支援体制強化 など

基本目標

13 地域防災力が強く災害に強いまちにします

将来の まちの姿

- ▶災害や火災の発生時に、市民一人一人が主体的に行動できる準備・体制が整っており、地域の防火・防災力が高まっています。
- ▶都市全体の耐震化などが進んでおり、自然災害による被害を最小化させる取組が進んでいます。
- ▶災害時に一人で避難することが難しい市民も、円滑に避難できる細かな配慮がなされています。
- ▶防災関係機関や企業、道内他市町村などの連携を通じて、大規模災害にも対応可能な防災力が確立しています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 自宅の防災対策・家庭内備蓄の推進

町内会・企業等

- 防災訓練などの自主防災活動の推進

行 政

- 公共施設、上下水道、道路などの耐震化の推進 など

基本目標

14 安全な日常生活が送れるまちにします

将来の まちの姿

- ▶防犯の取組など、市民の安全な暮らしを守る環境が整っています。
- ▶交通事故の少ない安全で安心な交通環境が実現しています。
- ▶大気汚染などの都市生活型公害について、適切な対策や市民への情報提供などを通じ、健康で安心な暮らしが守られています。
- ▶多くの人が集まる場では、バリアフリー化¹³やユニバーサルデザイン¹⁴の導入により、誰もが安全で快適に移動できる空間が整備されています。
- ▶冬の市民生活ルール¹⁵の共有や、効果的で効率的な除排雪などにより、安全な冬道が確保され、雪と共存した豊かな暮らしが実現しています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 地域防犯活動や交通安全運動への積極的な参加

町内会・企業等

- 地域防犯活動や交通安全運動の推進

行 政

- 公共施設のバリアフリー化などの推進 など

¹² 【かかりつけ医】 日頃から患者の体質、病歴や健康状態を把握し、診療のほかに健康管理上の助言などもしてくれる身近な医師のこと。

¹³ 【バリアフリー化】 高齢者や障がい者などが、社会生活をしていく上で障壁となるものを除去すること。道路、建物、交通手段など物理的なものだけでなく、社会的、制度的、心理的なものを含めた全ての障壁を無くすことを意味している。

¹⁴ 【ユニバーサルデザイン】 高齢者や障がい者のための特別な仕様を作るのではなく、最初から多くの人の多様なニーズを反映して作られた製品、建物、環境のデザイン。

5 環境 ～次世代へ引き継ぐ～

現状と課題

地球温暖化対策や福島第一原子力発電所の事故をきっかけとしたエネルギー政策の見直しなど、近年の環境問題は複雑・多様化しており、その対応に当たっては、自然環境の保全やエネルギー利用の見直し、環境負荷の少ないまちづくりなど多角的な取組が求められています。

また、札幌の財産である豊かなみどりは、その総量が減少傾向にあるため、市民・企業・地域・行政の連携・協力により、今あるみどりを守るとともに、新たに創出していくことが求められています。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 次世代へつなげる持続可能なまちづくり —

複雑・多様化する環境問題に対応するため、市民・企業・地域・行政が一丸となって、みどりの保全・創出やごみの減量・リサイクルなど、環境の保全・創造に関する取組を引き続き進める必要があります。

また、再生可能エネルギーの活用などに関する研究・開発・普及やエネルギー利用の在り方に関する市民意識の醸成を図ることにより、社会全体でエネルギー利用の在り方を考えながら、低炭素社会と脱原発依存社会を目指していく必要があります。

そして、市民が環境の保全・創造について学び、実践する環境づくりを進めることにより、札幌が持つ四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に引き継ぎ、より良い環境を創造する持続可能な都市「環境首都・札幌」を推進していくことが重要です。

基本目標の設定

基本目標

- 15 豊かな自然と共生するまちにします
- 16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします
- 17 市民が環境について学び行動するまちにします

基本目標

15 豊かな自然と共生するまちにします

将来の まちの姿

- ▶ 森林や農地、公園などに加え、民有地でもみどりの保全・創出が進み、みどり豊かで住み心地の良いまちが形成されています。
- ▶ 水については、水質や水量だけでなく、生物と生息環境、水辺とのふれあいといった水環境全体が守られています。
- ▶ 地球環境への負荷を低減する取組によって、生物多様性¹⁵が保全されています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動への主体的な参加

町内会・NPO等

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動の実施や情報発信、市民などへの助言

企 業 等

- 所有地やその周辺などの緑化の推進

行 政

- 公有地のみどりの保全・創出

など

基本目標

16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします

将来の まちの姿

- ▶ ごみの減量・リサイクル・再利用が積極的に行われる、資源循環型の社会となっています。
- ▶ 省エネルギー技術や次世代エネルギーシステムについては、情報・通信技術との連携などの研究・開発が進められることにより、その利用が進んでいます。
- ▶ エネルギー消費量の多い都心部を中心に、効率的なエネルギー利用が図られています。
- ▶ 積雪寒冷地であり、家庭などの二酸化炭素の排出量が多いことに対応した、エネルギー消費を抑えた市民のライフスタイルが定着しています。
- ▶ 環境に配慮した自動車が普及し、公共交通機関が積極的に利用されることにより、移動にかかるエネルギー消費を抑えた社会となっています。

私たちが 取り組むこと

市 民

- エネルギー消費を抑えたライフスタイルの実践

町内会・NPO等

- 集団資源回収の実施など、ごみ減量・リサイクル活動の推進

企 業 等

- 省エネ設備などの積極的な導入や環境負荷の低減への配慮

行 政

- ごみの減量・リサイクル・再利用の取組の促進

など

基本目標

17 市民が環境について学び行動するまちにします

将来の まちの姿

- ▶ 市民や企業などは、環境の保全・創造のために自ら考え、行動しています。
- ▶ 子どもたちは、自然とのふれあいや日常生活に根差した学習活動を通じて、広く環境問題に関心を持ち、身近なことから取り組んでいます。
- ▶ 市民や企業などは、札幌の美しい自然・環境を守り育て、美しい景観を維持・創出する意識を持ちながら、持続可能なまちづくりに主体的に取り組んでいます。

私たちが 取り組むこと

市 民

- 環境の保全・創造活動への積極的な参加

町内会・NPO等

- 環境の保全・創造活動の実践を通じた市民への理解促進

企 業 等

- 町内会、NPO、行政などと積極的に連携した環境の保全・創造活動の実践

行 政

- 学校・環境関連施設間の連携強化などを通じた環境教育の充実

など

¹⁵ 【生物多様性】 地球上の多種多様な生き物全てがそれぞれ支え合い、つながり合いながら生きている状態を表した概念であり、生態系・種・遺伝子の3つの多様性からなるもの。

6 文化 ～創造性を育む～

現状と課題

社会経済情勢が大きく変化する中で、札幌・北海道の資源を有効に活用し、まちの魅力を効果的に伝えることにより、北海道全体の地域振興や産業振興などに結び付け、市民生活を豊かなものとしていく取組が求められています。

札幌には、世界的に評価の高い文化芸術・スポーツに関する施設やイベントが多数あり、市民の創造性を育む基盤が整っています。

また、文化芸術・スポーツは、人々に感動を与え、その感動は、人々を刺激し、新たな行動を起こすきっかけをつくっています。そして、その行動を新たなコト・モノを生み出す創造的な活動へとつなげていくことが求められています。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 文化芸術・スポーツによる創造性の育み —

札幌には市民が身近に文化芸術やスポーツに親しめる環境が整っています。文化芸術やスポーツを通じて育まれる創造性を地域の活性化や産業の発展に結び付け、まちの活力を維持し、向上させていくことが重要です。

また、年間6mもの雪が降る特徴的な風土や歴史がつくり出してきた独自の文化やライフスタイルに代表される札幌の魅力を市民一人一人が再認識し、誇りを持って発信していく必要があります。

基本目標の設定

基本目標

- 18 創造的な活動により活力あふれるまちにします
- 19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします
- 20 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします

基本目標

18 創造的な活動により活力あふれるまちにします

将来の まちの姿

- ▶文化芸術やスポーツが、市民に感動や刺激を与え、市民の感性や創造性を育むことで、生活を豊かなものにしていきます。
- ▶子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、見るだけではなく、自ら文化芸術やスポーツを楽しむことで、充実した生活を送っています。
- ▶文化芸術やスポーツからつくり出された人と人との交流がまちづくりに発展し、まちの活性化へとつながっています。

私たちが 取り組むこと

市民

- 文化芸術の鑑賞及び創作・表現活動への積極的な参加を通じた交流

企業等

- 市民や地域の文化芸術やスポーツ活動への積極的な支援・協力

行政

- 文化芸術やスポーツを活用したまちづくり及び交流の促進

など

基本目標

19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが 生まれるまちにします

将来の まちの姿

- ▶多くの人が集まる文化芸術やスポーツが、札幌の魅力的な資源として、観光振興や国際交流などの様々な分野で生かされています。
- ▶文化芸術やスポーツが、食や観光など様々な産業分野と結び付くことで新たな付加価値を生み出し、まちににぎわいと活力があふれています。

私たちが 取り組むこと

市民・企業等

- 各産業分野における文化芸術やスポーツの積極的な活用

行政

- 集客力のある文化芸術やスポーツの振興と戦略的な活用

など

基本目標

20 市民一人一人が魅力を再認識し発信する まちにします

将来の まちの姿

- ▶雄大な北海道の中にあって、四季折々の豊かな自然と快適な都市機能を備えている札幌は、そこに暮らす人、そこを訪れる人を刺激し、その創造性を育んでいます。
- ▶独自の冬の文化を形成しており、厳しい冬の生活環境の中でも、雪を楽しむ魅力あるイベントやウインタースポーツなどが、まちににぎわいを与えています。
- ▶札幌型ライフスタイルの中から生み出される札幌・北海道の魅力を市民一人一人が再認識し、多様な手段により国内外に発信することで、世界の様々な人々が集い、交流しています。

私たちが 取り組むこと

市民・町内会・NPO・企業

- 札幌型ライフスタイルの積極的な発信

行政

- 市民や札幌を訪れる人々が雪を楽しむイベントやウインタースポーツの推進

など

現状と課題

これまでの札幌のまちづくりは、人口や産業の集中に対応するため、計画的に市街地を整備・拡大してきましたが、今後は、人口減少・超高齢社会の到来や地球環境問題の深刻化などに対応するため、大きな転換が求められます。

そのため、これからの都市空間の形成に当たっては、今ある都市の魅力と活力の向上を目指して、市民の多様なニーズを捉えるなど、きめ細やかな取組を積み重ねることが重要です。

また、急激な人口増加に対応するために整備してきた都市基盤¹⁶の老朽化が進んでいることから、適切な維持・保全や、人口動態や年齢構成の変化に応じた既存施設の再配置などの見直しが必要です。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 魅力と活力を持続的に高める集約型のまちづくり —

自動車を持たない高齢者なども安心・快適に暮らせるとともに、市民生活や都市活動のエネルギー効率を高めるためには、公共交通を中心とした集約型のまちづくりが必要です。

国内外から多くの人々が訪れ、様々な交流や活動が活発に展開される都市となるためには、札幌の顔である都心部の魅力と活力を高めるとともに、まちにうるおいを与えるみどり豊かな都市空間の創出や、良好な都市景観の形成が重要です。

また、人口減少・超高齢社会を迎える中でも、市民生活や都市活動を支え続けるためには、上下水道などの都市基盤施設¹⁷や市有建築物の計画的かつ効率的な維持・保全と併せて、特に市有建築物については、機能の複合化など、効果的かつ効率的な再配置が必要です。

基本目標の設定

基本目標

- 21 公共交通を中心とした集約型のまちにします
- 22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします
- 23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします
- 24 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

¹⁶ 【都市基盤】ここでは、学校や区役所などの建築物のほか、道路、上下水道、公園などの公共施設のことをいう。

¹⁷ 【都市基盤施設】ここでは、都市基盤のうち、建築物を除く道路、上下水道、公園などをいう。

基本目標

21 公共交通を中心とした集約型のまちにします

将来の まちの姿

- ▶ 都心や地下鉄駅周辺などに、多様な都市機能が集積され、交流やにぎわいが生まれています。
- ▶ 都心周辺部や地下鉄沿線には、利便性の高い暮らしの場が形成されており、一方、郊外住宅地では、ゆとりある良好な環境を生かした暮らしをしています。
- ▶ 日常生活に必要なことは身近な場所で行え、公共交通網により、多様な都市機能が利用できることで、自動車を運転しなくても困らない暮らしをしています。
- ▶ 市民が積極的に公共交通を利用し、エネルギー消費を抑えた社会となっています。

私たちが 取り組むこと

市民

- 公共交通機関の積極的な利用

企業等

- まちづくりの計画策定や活動への積極的な参画

行政

- 地域の特性に合わせた機能の誘導や施設の配置
- など

基本目標

22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします

将来の まちの姿

- ▶ 都心には、高次な都市機能の集積とともに、人を中心とした魅力ある空間が形成されています。
- ▶ 創造的な活動の発信など、文化と活力を創造する取組が展開されています。
- ▶ 豊かなみどりが充実し、うまいや風格が感じられる都心にふさわしい街並みが形成されています。
- ▶ エネルギーの効率的な利用など、先駆的な環境低負荷型のまちづくりが展開されています。

私たちが 取り組むこと

市民・町内会・NPO・企業等

- 都心のまちづくりに関わる計画策定や活動への積極的な参画

行政

- 都心のまちづくりに関わる計画などの策定・推進
- など

基本目標

23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします

将来の まちの姿

- ▶ 市街地では、みどりと、憩いや交流の場として活用されるオープンスペース¹⁸が十分にあり、市民に親しまれる良好な都市景観が形成されています。
- ▶ 市街化調整区域¹⁹では、森林や農地などの保全が図られているとともに、その特質を生かした土地利用が行われています。

私たちが 取り組むこと

市民・町内会・NPO

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動の実施・主体的な参加

企業等

- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備

行政

- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備の誘導・支援
- など

基本目標

24 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

将来の まちの姿

- ▶ 老朽化が進んでいく上下水道などの都市基盤施設や、市有建築物の計画的かつ効率的な維持・保全が進められています。
- ▶ 市有建築物については、機能の複合化など、効果的かつ効率的な再配置が進められています。

私たちが 取り組むこと

企業

- 地域ニーズに合わせた公共的サービスの提供を目的とした所有施設の活用

行政

- 市有建築物の集約化・複合化や、民間施設との連携などによる効果的かつ効率的な市有建築物の配置の推進
- など

¹⁸ 【オープンスペース】ここでは、公園、広場、河川、農地、建築物の敷地内の空地など、建築物などによって覆われていない空間をいう。

¹⁹ 【市街化調整区域】都市計画法（第7条）により、都市計画に定める区域区分の一つであり、無秩序な市街化を防止するために、市街化を抑制すべき区域をいう。